

集団的自衛権の法整備について、「今回のような人質事件が発生した時に自衛隊を派遣できるようにしたい」

70年談話について、「『植民地支配と侵略』『痛切な反省』『心からのお詫び』等の文言を使うかどうか、再検討する」



戦争に突進する安倍を倒せ!

職場・学園から、戦争法反対の嵐を

安倍首相は口先では「人命 壊滅を主導する」と宣言した。が第一」と言いながら、実際には人質を見殺しにした。首相は昨年9月以降、「イスラム国」空爆への支持・協力を公言していた。この事件の原因とその責任の一切は首相にある。安倍政権は、中東歴訪でばらまいた2億〜25億を撤回し、首相は全責任をとって退陣せよ!

オランダ大統領は、「フランスはテロとの戦いに入った」と宣言し、原子力空母「シャルルドゴール」の中東派遣を表明した。他方、米オバマ大統領は一般教書演説で「イスラム国」

「存立事態」で戦争自由にする「安全保障関連法案」だ。首相は、口では「国民の生命・財産を守る」と言いながら、沖縄では辺野古埋め立て工事を暴力的に進め、福島では子どもたちを放射能の中に置き去りそのまま、汚染水処理もできないのに、県民の帰還を強制している。

「辺野古新基地NO!」の県民意思はくり返し明らかにされている。にもかかわらず、安倍は新基地建設を指示し、それが海上保安庁・警察の暴力となって現れている。私たちは、沖縄の労働者民衆の闘いを支持し、連帯する。戦争をするための辺野古新基地と高江ヘリパットの建設を絶対に許さない。

中東派兵を狙っている

「存立事態」で戦争自由

沖縄、福島の新基地許すな

「安倍が殺した」 拘束中の後藤さんが訴えていたこと

「私は後藤健二だ。安倍、あなたが（湯川）遥菜を殺した。あなたは、私の拘束者による脅しを真剣に受け止めず、72時間以内に行動しなかった。いとしい妻よ、2人の娘が恋しい。安倍が私に同じことをしないでほしい。あきらめないでほしい。私の家族、友人、インデペンデントプレスの同僚とともに、政府に圧力をかけ続けなければならない。」(抜粋)

「安保」関連法阻止!

辺野古埋め立て阻止!

憲法改悪を許すな!

国会開会日の本日、午後2時から内閣府で

8万3千の署名を提出します